

会に諮問し、検討していく。

(社会教育の諸問題)

問 公民館と社会教育機能施設(集会所・青年館など)との連携をどのように推進するのか。

答 公民館とこれら施設との連携度は低いのが現状なので、今後集落別・年齢別の学習計画をつくり、各施設を学習の場とした「届ける社会教育」によって施設の活用を図りながら、住民総参加の活動を推進していく。

問 町長部局と教委部局の行う社会教育の接点をどうとらえるか。

答 めざす目的は同じでも命令系統が違うなど、接点のとり方は非常に難しい面があるが、連絡を密にして対処していきたい。なお、この問題については、次の社会教育委員会に諮問し、研究を重ねていきたい。

有線放送の活用

問 住民の知りたい分野が十分に伝わっていないのではないか。今後どのように活用していくのか。

答 現在の放送内容は取材番組が主体で、行政面での報道が弱いので、改善策を検討中である。防災無線との兼ね合い等を見定めた上で運営委員会の諮問に付したい。

商業振興策

問 第二次五か年計画に掲げる商業施策を具体化していくためには、駅前商店街に道路・駐車場を整備することが不可欠ではないか。

答 既存の商店街を再整理し、道路・駐車場を確保することは不可能なので、東金のような土地区画整理事業を都市計画の中に組み入れながら、商業振興策を考えていきたい。



にぎわう駅前商店街

道路整備と登記

(道路確認について)

問 駅左側から線路と平行に栗山川に至る道路は未登記部分が多いが、この取扱いをどうするのか。また、固定資産税の扱

いはどのようになっているか。

答 公図と現況の相違が著しいため、担当課だけでは技術的・事務的に処理が困難なので、今は後専門家に委託するなど、重点事項として解決を図っていく。固定資産税は登記簿に基づいて課税しているが、公道として利用している現状なので、登記されるまでの間、法の許す範囲で非課税扱いとしたい。

(道路認定について)

問 東町の民間分譲地内の道路が登記簿では田畑となっているが、農地法上問題はないか。舗装の予定についてはどうか。

答 地目が農地のままというのは問題があるので、綿密な調査を行い指導していく。当該地は個人所有の私道なので、舗装については、町へ寄付してもらって町道とし、道路計画にのせたいので舗装を施行する形であれば可能である。

(町道の拡幅)

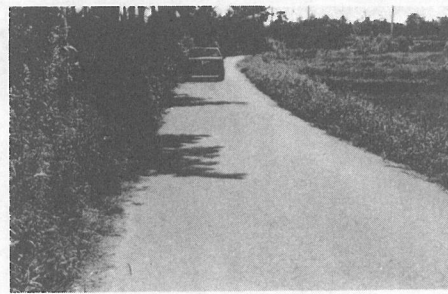
問 旧栗山飛行場跡地は人口が急増しているが、道路が狭く通行が極めて危険な状態である。宅地化が進行する前に、道路幅の確保はできないか。

答 同地域は優良住宅地帯であり、道路整備の必要性は十分に感じるので、限られた予算の中だが、緊急度の高いものとして、整備を図っていきたい。

問 TCC工場前から北清水

東方面へ通じる町道は、利用度が高いにもかかわらず、カーブが多く危険である。道路拡幅が急務と思われるが、現在までの経緯と今後の見通しを伺いたい。

答 同路線については、五十七年度に調査・測量を実施した。本年度は地権者との話し合いを行い、五十九年度に県の特別補助事業として採択をおおき、工事にとりかかる予定である。



拡幅が待たれる町道北清水線

(県道の改良)

問 県道飯岡片貝線は、幅員が狭いうえカーブが多く、路肩も軟弱で痛みもひどい状態である。通行に支障をきたしているので早急な改良を望む。

答 五年にわたってあらゆる機会に県に要望しているが、県の予算的な問題及び未登記部分が多いという二つの点で、着工

が遅れている現状である。一日も早く整備がなされるよう、今後も県に要望を重ねていく。

生活環境問題

(道路・家屋浸水)

問 東町キリスト教会前の通学道路は、大雨ですぐ浸水し、児童・生徒の通学に支障をきたしている。周辺家屋の玄関先にまで浸水している現状なので、町の対策を伺いたい。

答 ご指摘の通学道路は、継続事業として五十七年度までに、横小前から三一九mの改良が完成している。残りの部分は住家が密集しているため、地権者の協力を得ながら限られた財源の中で計画的に整備を行い、排水問題を解決していく方針である。

(廃棄物処理問題)

問 粗大ゴミ及び使用済乾電池は重大な環境汚染をひき起こす恐れがあるが、これらの処理に町はどのように取り組むのか。

答 粗大ゴミ及び水銀を含む物質については、その種類・数量等を把握したうえで処理方法を検討したい。

(生活雑排水処理対策)

問 下水道整備に対する町の方針及び生活雑排水浄化対策を伺いたい。

答 現在、住宅密集地帯を中